第２編　対策本部メンバー向け

５．「対策本部」と「各棟階段グループ」の役割

【対策本部】

マンション全体の統括機関として活動する。対策本部メンバーは、**管理組合理事及び各棟幹事、自治会役員並びに在宅居住者**で編成し、本部は管理センターに設置する。

	活動内容（概要）	
	震災直後（目安：１日目）	被災生活期～ライフライン復旧期（目安：２～４日目）
	対策本部メンバー不在時や人員不足の場合は、「在宅居住者」が代行	
本部長	・全体の状況把握、各班長との役割分担 ・対策本部体制の構築	・全体の状況把握、各班長との役割分担 ・対策本部体制の充実化、体制表のリスト化
情報班長	・全居住者の安否情報収集、整理	・全居住者の安否情報収集、整理 ・震災関連情報の収集
安全班長	・マンション全体の安全点検 ・震災用備品の準備、管理	・マンション全体の安全点検 ・ライフラインの復旧状況のチェック
救護班長	・待避所の開設、運営 ・マンション全体の救護活動の支援	・待避所の運営 ・負傷者、要支援者のサポート

【各棟階段グループ】

あらかじめ定められた各棟階段単位ごとに在宅居住者が中心となり、当該階段内居住者の安否確認・サポートを行います。また、各棟階段グループの代表として「グループ長」「副グループ長」を選出します。

	活動内容（概要）	
	震災直後（目安：１日目）	被災生活期～ライフライン復旧期（目安：２～４日目）
	在宅居住者が集結→「グループ長」「副グループ長」を選出→グループ内居住者の安否確認を実施	
グループ長	・グループ内安否確認の指揮 ・要援護者・負傷者等への対応の指揮	・グループの代表として活動 ・対策本部の支援、情報共有化
副グループ長	・グループ内安否情報を対策本部へ報告 ・対策本部の支援	・対策本部の支援、情報共有化 ・対策本部の人員確保への協力

次ページの体制図（別表１）を参照のこと。

別表1

2018.3改定

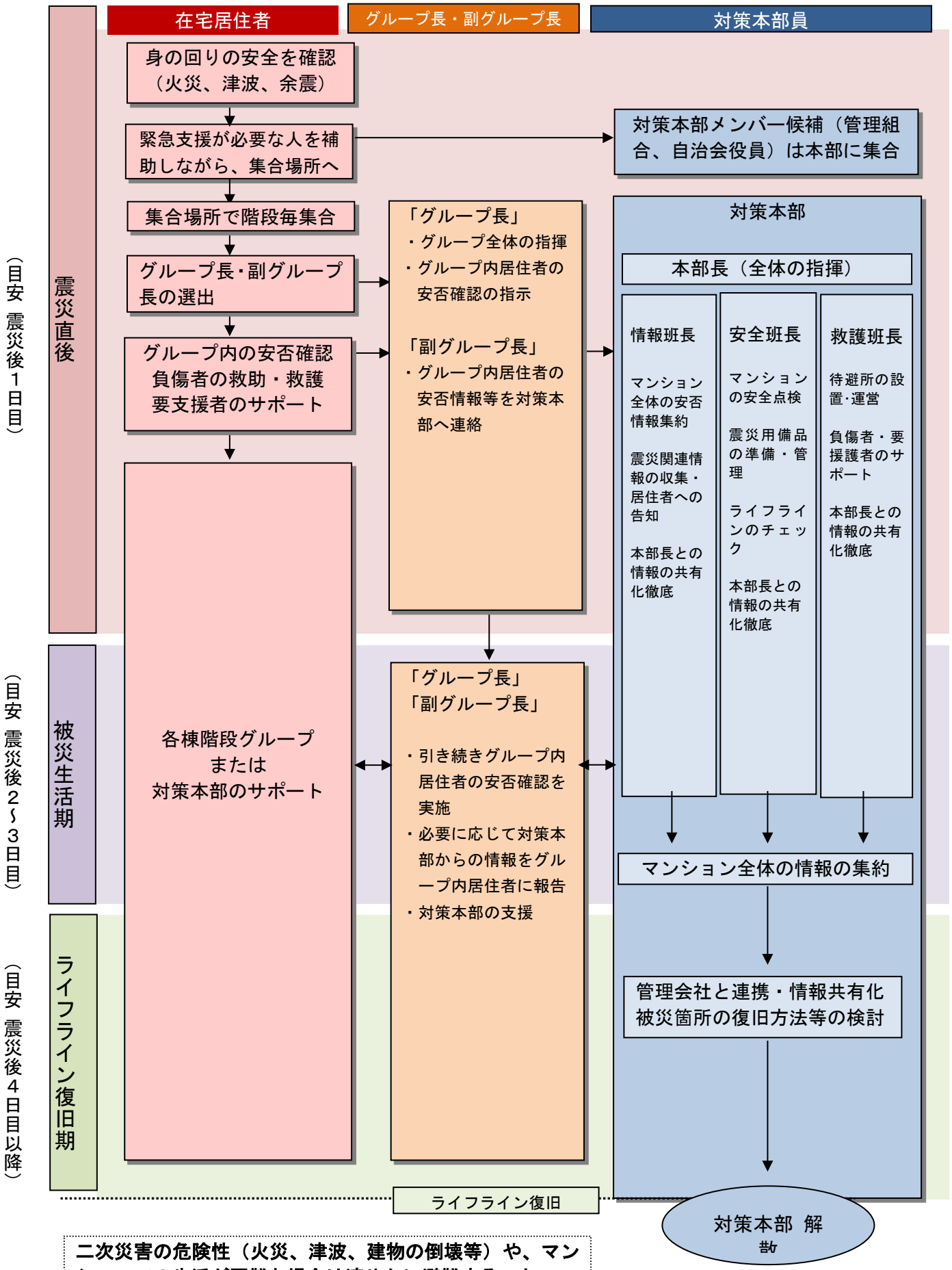
パークシティ金沢八景対策本部体制(震災時)

	本部長	副本部長	情報班長	安全班長	救護班長
	理事長	自治会会長	副理事長(会計)	副理事長(広報)	理事(会計)

情報班員	安全班員	救護班員
自治会副会長	理事(施設)	理事(書記)
自治会副会長	理事(施設)	理事(書記)
自治会会計	理事(みどり)	理事(防災)
自治会会計	理事(広報)	理事(防災)
理事会監事	理事(広報)	
理事会監事		

	A棟グループ A1-A4	B棟グループ B1-B6	C棟グループ C1-C4	D棟グループ D1-D5	E棟グループ E1-E6	F棟グループ F1-F3	
グループ長1	自治会役員	自治会役員	自治会役員	自治会役員	自治会役員	自治会役員	グループ長1
グループ長2	自治会役員	自治会役員	自治会役員	自治会役員	自治会役員	自治会役員	グループ長2
グループ長3	自治会役員	自治会役員	自治会役員	自治会役員	自治会役員	自治会役員	グループ長3
グループ長4	自治会役員	自治会役員	自治会役員	自治会役員	自治会役員	—	グループ長4
グループ長5	—	自治会役員	—	自治会役員	自治会役員	—	グループ長5
グループ長6	—	自治会役員	—	—	自治会役員	—	グループ長6
副グループ長1	棟幹事長	棟幹事長	棟幹事長	棟幹事長	棟幹事長	棟幹事長	副グループ長1
副グループ長2	副棟幹事長	副棟幹事長	副棟幹事長	副棟幹事長	副棟幹事長	副棟幹事長	副グループ長2
副グループ長3	棟幹事	棟幹事	棟幹事	棟幹事	棟幹事	棟幹事	副グループ長3
副グループ長4	在宅者	棟幹事	在宅者	棟幹事	棟幹事	—	副グループ長4
副グループ長5	—	在宅者	—	在宅者	在宅者	—	副グループ長5
副グループ長6	—	在宅者	—	—	在宅者	—	副グループ長6

６．震災発生からの活動の流れ



二次災害の危険性（火災、津波、建物の倒壊等）や、マンションでの生活が困難な場合は速やかに避難すること。

７．フェーズ毎の行動基準

（１）「震災直後」の行動基準（目安：震災後１日目）

① 棟階段グループの活動

●在宅居住者は、自宅の安全や家族の安否確認の後、一斉放送や携帯ラジオ等で火災・津波情報に注意し、自宅で待機する。
●グループ長・副グループ長を選出。グループ内居住者の安否確認を行い「副グループ長」が対策本部に報告する。

行動主体	活動内容	特記事項
在宅居住者	まずは身の回りの安全確認を行う。	□宅内の被害（家具転倒、火元等）を確認する。 □ブレーカーを切る。 □家族の安否を確認する。 □津波情報を確認する。 □建物の大破損を確認する。
	震災マニュアル等を準備し、床上浸水・延焼の恐れがある場合に避難するほかは、在宅避難を基本とする。	□震災マニュアルの他、必要な備品等を準備する。（筆記用具、掲示用テープ、懐中電灯等） □避難場所で階段毎に集合
	「グループ長」「副グループ長」を選出する。	□在宅居住者の中から選出する。 □各階段エントランス近傍にグループ長等の部屋番号・氏名等を掲示する。
	グループ長の指揮に基づき、グループ内居住者安否確認を行う。	□集合した在宅居住者で手分けして行う。
	可能な限り「各グループ」「対策本部」のサポートを行う。	□状況に応じて必要な作業を分担する。
グループ長	グループ内居住者の安否確認を指揮する。	□集合した居住者と協議し、手分けして安否確認を行う。 □停電時はインターホンが使えないため、玄関ドアを叩くなどして呼びかける。
	要支援者や負傷者が確認された場合は対応を指揮する。	□集合した居住者と相談し状況に応じて「待避所」等に誘導する。 □重症の場合は速やかに救急車を手配する。 （対策本部に報告のうえ情報を共有化する。）
副グループ長	グループ内の安否確認結果を取りまとめる。	□集計結果をグループ長と共有化する。
	安否確認結果を対策本部に報告する。	□対策本部が設営されていない場合、また人員不足が明らかな場合はグループ長に報告のうえ対策本部のサポートを行う。

②対策本部の活動

●対策本部メンバーにて「対策本部」を設置する。
●対策本部メンバー不在時は協力可能な在宅居住者が代行を務める。

行動主体	活動内容	特記事項
対策本部 メンバー	指定の場所に対策本部を設置する。	□対策本部の設置場所：管理センター２階 □メンバー不在時は在宅居住者（有志）が代行を務める。
本部長	各班の班長（情報班、安全班、救護班）と協議のうえ、役割分担を確認する。	□原則対策本部にとどまり、全体の状況を把握し、救援活動を指揮する。 □サポートが必要な場合は、他の在宅居住者に協力を求める。 □各班長から寄せられる情報を集約し、対策本部メンバーで共有化する。
情報班長	マンション全体の安否情報を取りまとめる。	□災害状況に関する情報を収集する。 （津波、近隣も含めた火災、地区の防災拠点の立ち上がり等） □各棟階段グループから寄せられる安否確認情報をとりまとめる。 □今後の情報伝達窓口として、各棟階段グループの「グループ長・副グループ長の部屋番号・氏名・連絡先」をリスト化する。
	本部長に報告する。	□本部長との情報共有化を徹底する。
安全班長	震災用備品を準備する。	□あらかじめ備えてある震災用備品（対策本部用）を準備する。 □震災用備品の保管場所：Ｐ５５～５６
	マンション共用部の点検を行う。	□破損箇所等で危険なものについては可能な範囲で応急処置を行う。 □共用設備の運転状況を確認する。
	ライフラインをチェックする。	□水・電気・ガス等の供給状況を確認する。
	本部長に報告する。	□本部長との情報共有化を徹底する。
救護班長	待避所を設置する。	□要支援者や負傷者対策の一環として待避所を設置する。 □待避所の設置場所：管理センター □必要な備品等については「安全班長」と連携し準備する。
	要支援者や負傷者等をサポートする。	□対象者の症状に応じ必要なサポートを行う。
	本部長に報告する。	□本部長との情報共有化を徹底する。

（２）「被災生活期」の行動基準（目安：震災後２～３日目）

①各グループの活動

●引き続き各グループ居住者の安否確認を行う。（未了の場合）
●必要に応じて対策本部と連携し「情報の収集・配信」を行う。

行動主体	活動内容	特記事項
グループ長 副グループ長	（各グループの安否確認が未了の場合）引き続き安否確認を行う。	□対策本部と連携し安否情報の共有化を図る。
	必要に応じて、対策本部からの伝達事項を各グループの居住者に報告する。	□情報の重要度・緊急度に応じて「各戸訪問」「掲示」を使い分ける。 □他の在宅居住者に協力を仰ぐ。
	対策本部のサポートを行う。（情報の共有化、人員の補充）	□他の在宅居住者に協力を仰ぐ。
在宅居住者	可能な限り「各グループ」「対策本部」をサポートする。	□状況に応じて必要な作業を分担する。

②対策本部の活動

●マンション全体の状況を確認し、必要な情報をとりまとめる。
●在宅居住者から支援者を募り、対策本部体制の充実化を図る。

行動主体	活動内容	特記事項
本部長	在宅居住者の中から支援者を募り、体制の充実化を図る。	□支援者の募集に際しては、グループ長・副グループ長を介して協力を仰ぐ。
	対策本部員の名簿を作成する。	□班長・班員の氏名、部屋番号、連絡先を記載した体制表を作成する。
	各班の班長（情報班、安全班、救護班）と協議のうえ役割分担を行う。	□原則対策本部にとどまり、全体の活動を指揮する。 □対策本部の活動が長期化する場合は、必要に応じて交代要員を確保し、メンバーのローテーションを組んでおく。
情報班長	引き続き対策本部に寄せられる安否確認情報を整理・集約する。	□先に作成した「安否情報シート（対策本部用集計表）」を更新・整理する。
	震災関連情報を収集・整理し、必要に応じて居住者に伝達する。	□各居住者への情報伝達は、グループ長・副グループ長に協力を仰ぐ。
	本部長に報告する。	□本部長との情報共有化を徹底する。
安全班長	マンション共用部の点検を行う。	□破損箇所等で危険なものについては可能な範囲で応急処置を行う。 □共用設備の運転状況を確認する。
	ライフラインをチェックする。	□水・電気・ガス等の供給状況を確認する。
	本部長に報告する。	□本部長との情報共有化を徹底する。
救護班長	待避所を運営する。	□必要な備品等については「安全班長」と連携し準備する。 □要支援者や負傷者などの一時待避所として活用する。
	要支援者や負傷者等を支援する。	□対象者の症状に応じ必要なサポートを行う。
	本部長に報告する。	□本部長との情報共有化を徹底する。

（３）「ライフライン復旧期」の行動基準（目安　震災後４日目以降～）

①各グループの活動

●引き続き各グループ居住者の安否確認を行う。（未了の場合）
●必要に応じて対策本部と連携し「情報の収集・配信」を行う。

行動主体	活動内容	特記事項
グループ長 副グループ長	（各グループの安否確認が未了の場合）引き続き安否確認を行う。	□対策本部と連携し安否情報の共有化を図る。
	必要に応じて、対策本部からの伝達事項を各グループの居住者に報告する。	□情報の重要度・緊急度に応じて「各戸訪問」「掲示」を使い分ける。 □他の在宅居住者に協力を仰ぐ。
	対策本部のサポートを行う。（情報の共有化、人員の補充）	□他の在宅居住者に協力を仰ぐ。
在宅居住者	可能な限り「各グループ」「対策本部」をサポートする。	□状況に応じて必要な作業を分担する。

②対策本部の活動

●各班長と連携し、居住者の安否確認結果やマンション全体の被災状況を集約する。
●管理会社等と連携して、被災箇所やライフラインの復旧を図る。

行動主体	活動内容	特記事項
本部長	居住者の安否確認結果やマンション全体の被災状況等を取りまとめる。	□各班長と連携し、最新の情報を集約する。
	管理会社に上記の被災状況を報告する。	□被災状況を踏まえ、今後の対応方針について協議する。
対策本部 メンバー	被災箇所の復旧方法について検討する。	□管理会社と協議のうえ、復旧までの段取りや役割分担を確認する。 □被災箇所の重要度・緊急度に応じて優先順位を設定する。
	対策本部を解散する。	□緊急性のある問題もなく、ライフラインの復旧の目途がついた時点で対策本部の解散を検討する。 □解散する場合は全居住者に報告する。

(12)　屋内消火栓（ホース付き）

はしご車が届かない
11F～12F踊り場および
13F～14F踊り場に設置
されています。

☆**消防署員が使用します**。2名で操作します。（ひとりでは行わないで下さい）
☆火勢に応じ、無理せず119番通報、応援の要請、避難を優先してください

使用できるホース

(13)　連結送水管（ホース無し）

3F～4F・5F～6F
　・8F～9Fの踊り場
に設置されています。

消防ポンプ車から
水を送り込みます

☆**消防署員が使用します**。一般の方は水勢が強く危険なため使用しません。

☆１１９番通報、応援の要請、避難を優先してください

(14) 給水ポンプ及び受水槽

- B棟西端にある給水ポンプ室内には給水ポンプ3台と消火用ポンプが設置されています。
- 屋外には受水槽が設置されています。
- 停電により運転停止。数十cmの浸水で配電盤が浸水して運転停止。（＝断水） 水道本管直結の水栓は使用可能。

- 災害時にはポンプ室内にある蛇口6個を設置した非常用給水栓を受水槽に繋がるパイプに接続することで、受水槽内の水が使用できます。
- ポンプ室に入室するには鍵等が必要。

(15)　消火用ポンプ

・ B棟ポンプ室内に設置されています。
地下に設置された補給水槽（1トン）の水を高圧で圧送し、屋内消火栓へ供給します。

・ **火災報知機（発信器）のボタンを押さないと起動しない**ので、必ず押すこと。

・ 停電により運転停止。数十 cm の浸水で制御盤が浸水して運転停止。

(16)　非常用発電設備

– 受水槽横に設置されています。
– 停電時に管理センター内の非常用設備･照明に電気を5時間以上供給します。燃料が枯渇したら運転不能となります。

※停電時はエレベーターは停止します。
※停電時は給水ポンプは停止するため、断水します。
※住戸内への電気供給はありません。
※停電時はこの非常電源により管理センター２階で携帯の充電ができます。

(17) 仮設トイレ

以下の3つから構成
・災害用マンホールトイレ
・トイレ用テント（ユニテント）と固定用オモリ
・エンジン付き給水ポンプ（マツザカ製QP-303D）

- エンジン付き給水ポンプはセルモーターで起動する。
- バッテリー切れの場合にリコイルスターターで始動するには、チョークレバーを開きながら引っ張り、途中でチョークレバーを閉める。
- 給水ポンプの始動に必要な呼び水は、エンジンを回しながら給水する。

(18)　集会用テント

防災倉庫（管理センターの西側）に３セット、自治会倉庫（管理センターの南側。入口がシャッターになっている）に大小２セットずつが保管されています。

まず屋根の骨組みを組立て、テント布を被せてから、柱の数と同じ人数で屋根を持ち上げながら、柱を接続します。

添付6　パークシティ金沢八景　設備機器・什器備品一覧表（防災関連用品）

品　　名	品　　番	数量	保管場所	購入時期
防災倉庫（B 棟西、管理センター裏）		3	（品名欄記載の通り）	
担架		2	防災倉庫(ｾﾝﾀｰ裏)	
担架　アルミ製四つ折り・伸縮		3	防災倉庫(B 棟西-南)	
災害救助工具（キャリアー付）		1	防災倉庫(ｾﾝﾀｰ裏)	
懐中電灯（ラジオ付）	日立製	2	管理センター	
懐中電灯（ラジオ付）	日立製	2	防災倉庫(B 棟西-南)	
ハンドマイク	東芝製	2	管理センター	
ハンドマイク	東芝製	2	防災倉庫(B 棟西-南)	
ハンドマイク	松下製	3		
ハンドマイク(大型)		1		H29.3 自治会購入
レスキュー11	救出用工具セット	1	管理センター1F 倉庫	H22 年度自治会購入
平バール	HB450	10	防災倉庫(ｾﾝﾀｰ裏)	
平バール	HB600	1	管理センター1F 倉庫	
平バール	HB900	1	防災倉庫(ｾﾝﾀｰ裏)	
丸バール	HB1800	1		
油圧ジャッキ		4		
手動ウインチ		2		
手動ウインチ用ワイヤー	φ6 ㎜、両端切放し	2		
ポータブル発電機(ｶｾｯﾄﾎﾞﾝﾍﾞ使用)	三菱	2	防災倉庫(B 棟西-南)	別途ｴﾝｼﾞﾝｵｲﾙ保有
スケットイレ		6		100 ｾｯﾄ入箱
簡易トイレ		6		内 5 ケ大箱に一括収納
テント		3	防災倉庫(ｾﾝﾀｰ裏)	自治会備品
剣スコップ		10		
電工ドラム		2	防災倉庫(B 棟西-南)	
サーチライト		1		
投光機		2		吊り下げ式
ヘルメット	タニザワ	12		
ヘルメット	タニザワ	40		H26 年度管理組合購入
絶縁変圧器	ボルスター	1		200⇒100V 降圧用
グリーンネット		1	防災倉庫(ｾﾝﾀｰ裏)	ゴミ仮置き用
丸棒（木製）		1		
鎌型丸棒(鳶口)		1		
カケヤ		1	管理センター	
ツルハシ		1	みどりの会倉庫	
両口ハンマー　4.5 kg		1		
トングス		6	防災倉庫(ｾﾝﾀｰ裏)	ゴミ処理用
サニタクリーン		28	防災倉庫(B 棟西-南)	
ユニテント		2		**簡易トイレ用テント**
ベンリー暖ケット		60		防寒ｼｰﾄ(ｸｯｼｮﾝ性有り)
スペースブランケット等		39		防寒シート(薄手)
DUALHEAT		9		缶入燃料
LED ランタン	8 灯式・単三電池使用	12		H23 年度自治会購入
ランタン		5		自治会備品

懐中電灯		8	防災倉庫(B 棟西-南)	H23 年度管理組合購入
Good 袋・消臭液	非常用ﾄｲﾚﾊﾟｯｸ(12 箱)	2400		
キャリーフ	シート式担架	7		
おんぶ帯	非常用背負子	7		
アルミ製リアカー		1	管理センター1F 洋室	H21 年度自治会購入
災害用車イス	FX20EM	1		H24 年度管理組合購入
災害多人数用救急箱 20 人用		2	防災倉庫(B 棟西)	
Eco ラジオ		5	防災倉庫(B 棟西-南)	
トランシーバー	ICB-U50SEI	一組		二台一組
トランシーバー	PK410	4		H24 年度管理組合購入
高輝度 9LED ヘッドランプ	一箱にまとめて保管	5		
エマージェンシーパック　3Days		30	防災倉庫(B 棟西)	
緊急用 ID ホイッスル		2	防災倉庫(B 棟西-南)	
イーバックチェア	階段避難用椅子	2	管理センター	H27･28 年度管理組合購入
かまどベンチ		1	C-D 棟間広場	H28 年度管理組合購入
寸胴なべ	かまどベンチ用	2	防災倉庫(B 棟西)	
なた		2	防災倉庫(ｾﾝﾀｰ裏)	
幟(のぼり)	パークシティ金沢八景名入り	2	防災倉庫(B 棟西)	H29 年度管理組合・自治会購入
生命のパンあんしん(ココア味)	賞味期限:2024/4	200	第四集会室物入	H30 年度管理組合購入
生命のパンあんしん(ココア味)	賞味期限:2028/8	264		2022 年度管理組合購入
フリーズドライご飯(カレー味)	賞味期限:2030/12	100		
5年保存水絆	2L　賞味期限:2024/8	180		H30 年度自治会購入
乾パン	三立　賞味期限:2024/2	240		
消火バケツ		4	防災倉庫(B 棟西)	H30 年度管理組合購入
消火器		447	各棟共用部・管理棟	
簡易プール	300 リットル	1	防災倉庫(B 棟西-南)	H30 年度管理組合購入
ロープ		2		
BOS 非常用トイレセット		10	第4集会室	R1 年度管理組合購入
土嚢袋		100	防災倉庫(B 棟西-南)	
エンジン付きポンプ	ディーゼル、マツザカ製	1	防災倉庫(管理センター南)	2019 年度管理組合購入
災害用マンホールトイレ		2		
マンホールトイレ用テントセット	標準、大型	2		
サニーホース	10M	1		
サクションホース	10M	1		
カップリング		1		
ホースクランプ		4		
燃料携行缶	20リットル	8		
防災倉庫(管理センター南)		1		
防臭袋 BOS	S サイズ(20cm×30cm)	65		2020 年度自治会購入
防臭袋 BOS	1箱200枚入り	11		2020 年度管理組合購入
5年保存水	2L　賞味期限:2024/8	50	第四集会室物入	
カセットガス	イワタニ　3 本×16 箱	1	第一集会室	
ドライカレー	賞味期限:2027/4	150	第四集会室物入	2021 年度自治会購入
BOS 非常用トイレセット	1箱100回分入り　交換目安:2032/8	7	防災倉庫(B 棟西)	2021 年度自治会購入
災害用マンホールトイレ		1	防災倉庫(管理センター南)	2021 年度管理組合購入(横浜市助成金利用)
マンホールトイレ用テントセット	大型	1		

添付７

近隣の役所等連絡先リスト

組織	電話	ホームページ	メールアドレス
三井不動産住宅サービス株式会社 お客様センター	0120-8656-31		
横浜南営業所	045-822-2277		
金沢八景事業所 管理センター	045-784-8521		
金沢消防署	045-781-0119		
金沢警察署	045-782-0110		
神奈川県庁	045-210-1111		
横浜市庁	045-671-2121		
金沢区役所	045-788-7878		
東京電力	0120-995-772		
同上　神奈川カスタマーセンター	0120-995-772		
東京ガス	0570-002-299		
同上　横浜支社	045-948-1100		
同上　ガス漏れ連絡先	045-945-1160		
横浜市水道局	045-847-6262		
NTT	113		
エレベーター会社（東芝）	0120-64-2433		お客様番号:Y-20957
給排水設備			
電気設備			
金沢病院	045-781-2611		
若草病院	045-781-8811		
横浜南共済病院	045-782-2101		
救急医療情報センター	045-201-1199		

添付８

パークシティ内外の避難先

＜一時（いっとき）集合場所＞

- 候補としては管理センター（非常電源が使えて情報収集しやすい）に近いＡ・Ｂ棟間、Ｃ・Ｄ棟間広場だが、津波・火災等の状況に応じて、在宅または各棟の３階以上に留まってもらう。
- 状況を把握・判断するための集合場所。

＜待避所＞

- 候補としては管理センター１階の和室、Ｂ棟プレイルーム
- けが人、介護を要する人が休養できる場所。

＜地域防災拠点＞

- 八景小学校
- 床上浸水・延焼した住民の避難生活場所。備蓄倉庫・救護所。

＜広域避難場所＞

- 横浜市立大学金沢八景キャンパス
- 広域で大規模な火災から避難する場所。大規模火災が発生すると熱風により避難が困難となるため、広く・類焼から避難できる場所として指定される。

＜福祉避難所（特別避難場所）＞

- 横浜市泥亀地域ケアプラザ、晴嵐かなざわほか
- 高齢者、障害児・者、妊産婦、乳幼児などの要援護者のうち、地域防災拠点での避難生活が難しいと判断された方を受け入れるための二次的な避難所。専門職（保健師）などが判断。

出典：横浜市金沢区の福祉避難所（特別避難場所）
https://www.city.yokohama.lg.jp/kanazawa/kenko-iryo-fukushi/fukushi_kaigo/chiikifukushi/saigai-shien/20180215144033.html

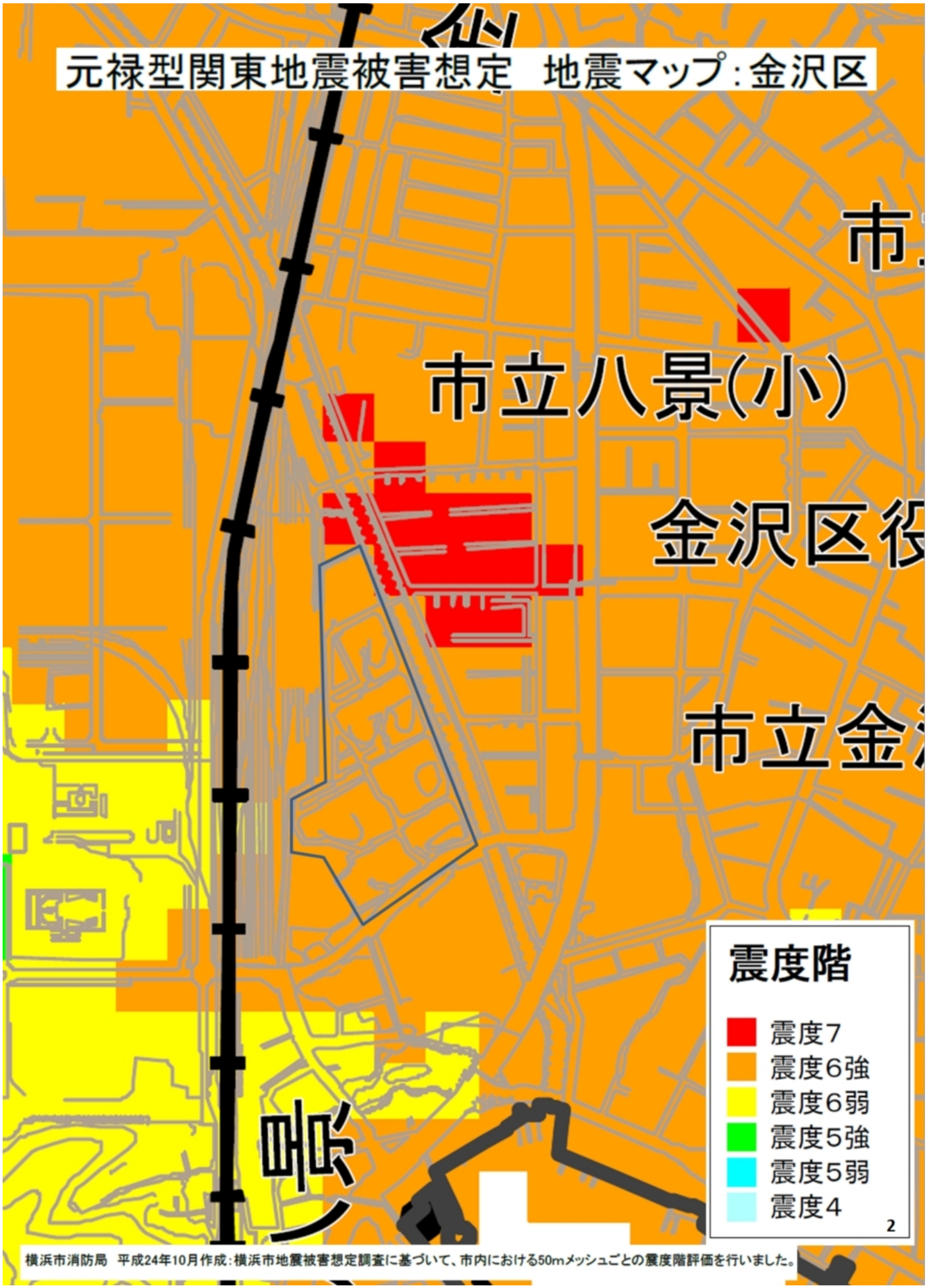
添付９

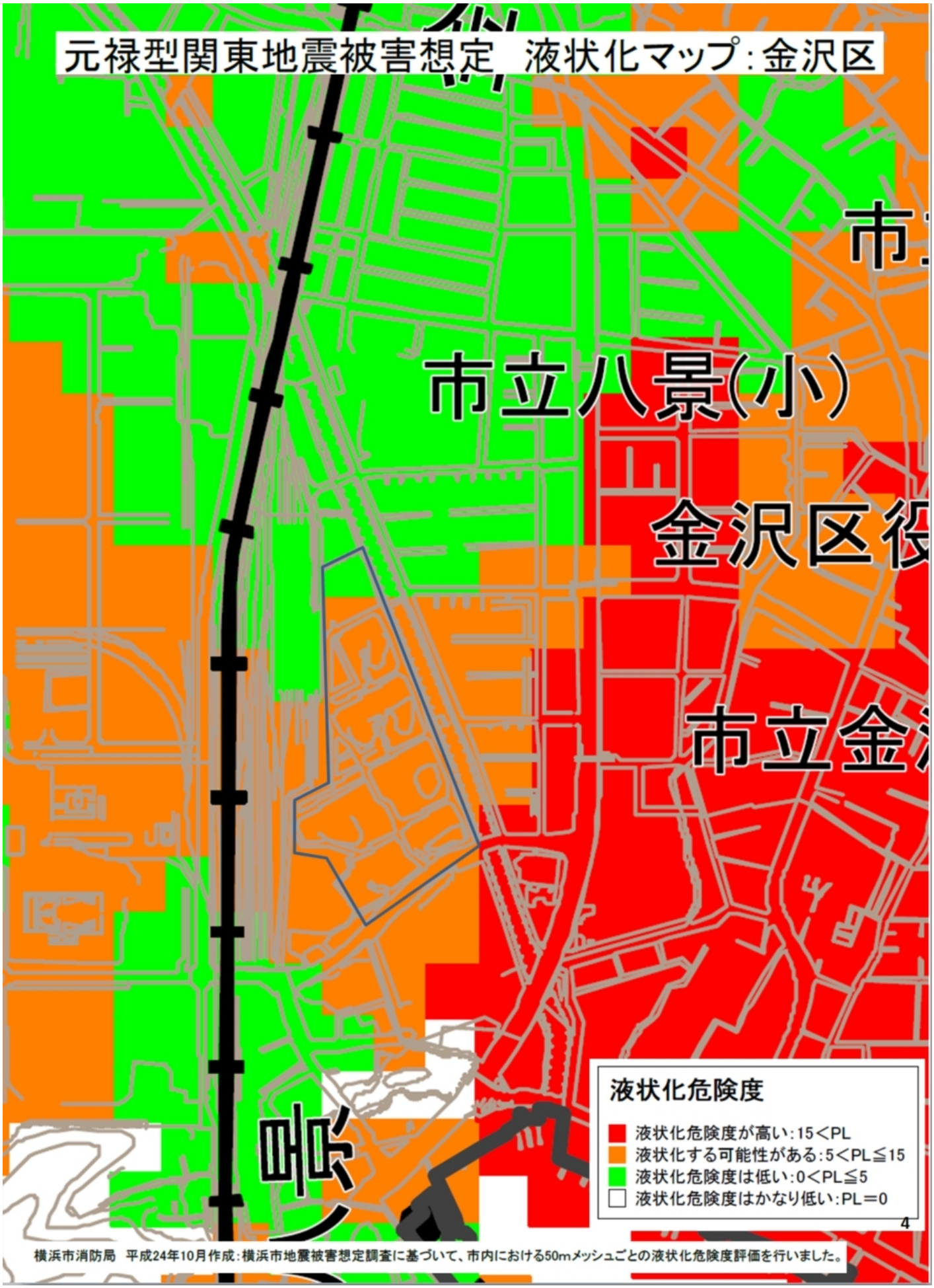
パークシティ金沢八景
周辺ハザードマップ

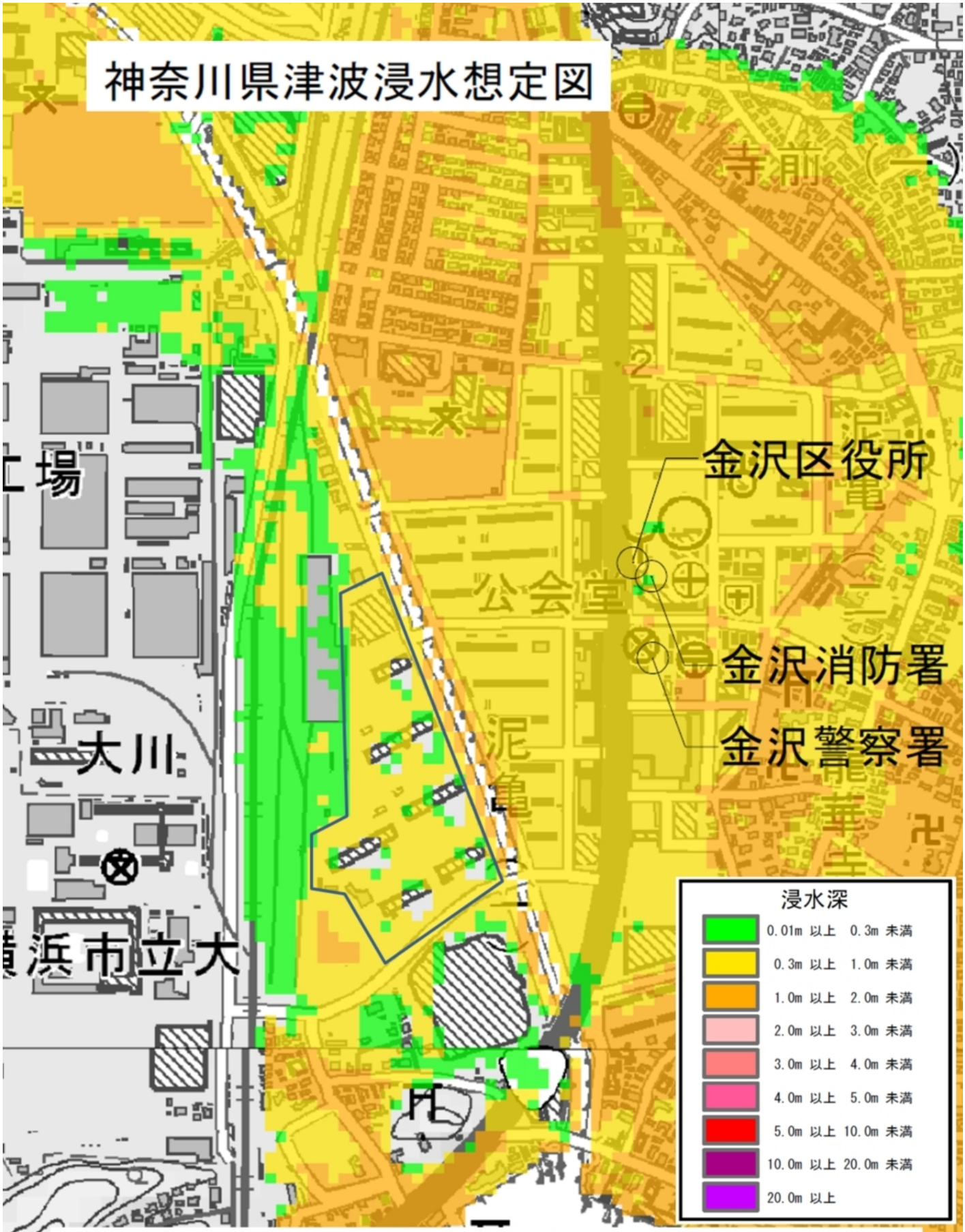
2022 年 10 月 5 日

- 地震被害想定（元禄型関東地震）　p. ６２
  平成 24 年 10 月
- 液状化（元禄型関東地震）　p. ６３
  平成 24 年 10 月
- 津波浸水想定（５つの地震による）　p. ６４
  平成 27 年 3 月
- 洪水浸水想定　令和 3 年 6 月公開　p. ６５
- 内水浸水想定　令和 3 年 4 月　p. ６６
- 高潮浸水想定　令和 3 年 6 月公開　p. ６７
- 土砂災害　令和 2 年 4 月　p. ６８

わがまちハザードマップ：
https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/index.html?citycode=14100
を元に作成し、横浜市総務局地域防災課及び環境創造局下水道事業マネジメント課の了承を得ている。


元禄型関東地震被害想定　地震マップ：金沢区
市立八景(小)
金沢区役
市立金
震度階
震度7
震度6強
震度6弱
震度5強
震度5弱
震度4
2
横浜市消防局　平成24年10月作成：横浜市地震被害想定調査に基づいて、市内における50mメッシュごとの震度階評価を行いました。


元禄型関東地震被害想定 液状化マップ：金沢区
市立八景(小)
金沢区役
市立金
液状化危険度
液状化危険度が高い：15＜PL
液状化する可能性がある：5＜PL≦15
液状化危険度は低い：0＜PL≦5
液状化危険度はかなり低い：PL＝0
4
横浜市消防局 平成24年10月作成：横浜市地震被害想定調査に基づいて、市内における50mメッシュごとの液状化危険度評価を行いました。



神奈川県は、平成25年12月に内閣府「首都直下地震モデル検討会」が提示した知見に基づき、5つの地震について「浸水域」と「浸水深」が最大となるよう重ね合わせた図面を作成し、平成27年3月に「津波浸水想定」として設定しました。

6

金沢区洪水ハザードマップ
洪水浸水想定区域（想定最大規模※）
宮川水系河川：宮川　侍従川水系河川：侍従川
寺前一丁
泥亀
二丁目
泥亀地域ケアプラザ
金沢
市立八景小学校
9
金沢区
金沢消防署
泥亀一丁目
金沢病院
金沢警察署
宮川
金沢地区センタ
瀬戸
10.0～20.0m未満
※金沢区内では、該当エリアはございません。
5.0～10.0m未満
※金沢区内では、該当エリアはございません。
3.0～5.0m未満　2階部分まで浸水する深さ
0.5～3.0m未満　1階天井をこえて浸水する深さ
0.0～0.5m未満　おとなの膝まで浸かる深さ
想定条件
宮川水系：24時間で317mmの降雨
侍従川水系：24時間で319mmの降雨

金沢区内水ハザードマップ
内水浸水想定区域（想定最大規模）
寺前一丁目
泥亀
一丁目
亀地域ケアプラザ
市立八景小学校
金沢消防署
金沢区役
金沢病院
金沢警察署
泥亀一丁目
宮
川
金沢地区センタ
洲崎町
想定条件
1時間で
153mmの降雨
想定最大規模降雨
2.0m以上
1階の軒下以上
1.0～2.0m
床上浸水相当
1階の軒下まで
50cm～1.0m
床上浸水相当
大人の腰まで
20～50cm
床下浸水相当
2～20cm
道路冠水相当
2cm未満
道路冠水相当
2.0m
1.0m
0.5m
0.2m
横浜市環境創造局 金沢区内水浸水想定区域（令和３年４月）
8

金沢区高潮ハザードマップ
高潮浸水想定区域（想定最大規模※）
寺前一丁
泥亀
二丁目
泥亀地域ケアプラザ
金沢
市立八景小学校
9
金沢区
金沢消防署
泥亀一丁目
金沢病院
金沢警察署
宮
川
金沢地区センタ
瀬戸
10.0～20.0m未満
※金沢区内では、該当エリアはございません。
5.0～10.0m未満
※金沢区内では、該当エリアはございません。
3.0～5.0m未満　2階部分まで浸水する深さ
0.5～3.0m未満　1階天井をこえて浸水する深さ
0.0～0.5m未満　おとなの膝まで浸かる深さ
想定条件
中心気圧 910hpa、暴風半径 75km、移動速度 73km/hの台風
9

金沢区土砂災害
ハザードマップ
令和２年４月発行
（土砂災害警戒区域 2019年12月20日 告示時点 土砂災害特別警戒区域 2019年12月20日 告示時点）
（急傾斜地崩壊危険区域 2019年12月末時点）
横浜
金沢文庫局
寺前一丁目
いきいきセンター金沢
横浜市泥亀地域ケアプラザ
泥亀二丁目
③八景小学校
金沢土木
金沢消防署
金沢区役所
金沢福祉保健センター
金沢公会堂
金沢警察署
横浜金沢局
泥亀一丁目
宮川
横浜市立
金沢高等学校
金沢地区センター
市立大学
八景キャンパス
瀬戸
金沢八景駅
凡例
土砂災害警戒区域(急傾斜地)
土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
土砂災害警戒区域(土石流)
土砂災害特別警戒区域(土石流)
急傾斜地崩壊危険区域
※ 急傾斜地の崩壊を防止するため、神奈川県が対策施設の設置工事をすることができる区域
10